

氏名

月 日

/5問

■ 高木さんのクラスでは、興味を持ったことについて調べて文章にまとめることになりました。次の【高木さんがまとめたもの】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【高木さんがまとめたもの】

わたしは、外国(注)の寓話(ぐわ)である「イソップ物語」に古文のものがあることを知り、興味を持ったので調べることにした。

「イソップ物語」は、動物や虫などが出てくる短い話を集めた物語集で、「カラスとキツネの話」などが知られている。「カラスとキツネ」の話は、肉をくわえて木に止まっていたカラスを見たキツネが、その肉を奪(うば)うために、カラスに、

「とても美しい声をお持ちだ。ぜひその声を聞かせてほしい。」

と頼(たの)む。気を良くしたカラスが一声鳴いたとたん、口の肉が下に落ちてしまい、キツネは肉を奪うことができたという内容である。この話からは、いくらほめられてもすぐに信じることなく、身を引きしめていなければならないという教訓を学ぶことができる。このように、「イソップ物語」は、動物の話の中に人間に対する教訓を盛りこんだ、たとえ話を集めたものでもある。

まず、この物語になぜ古文のものがあるのかを図書館で調べてみた。そして、キリスト教の宣教師によって日本に伝えられたのが最初で、江戸時代になって漢字仮名交じりの本、「伊曾保物語」として出版され、たくさんの人に読まれるようになったからだということが分かった。

次に、長い間この物語が語り継がれてきた理由となる、この物語が持つ特徴(とくちょう)について考えてみた。

一つは、物語の構成が単純で、内容が非常に分かりやすいことだ。一つ一つの話が短く、すぐに読み終えることができる。また、一つの話に登場する生き物も少ないうえ、動物などを用いた分かりやすいたとえ話になっており、小さな子供にもすぐに理解できる内容である。

もう一つは、物語によって示される教訓が、現代でも十分に通用するということだ。「カラスとキツネの話」にしても、「ほめられることがあっても、図に乗ることなく、身を引き締めること」という教訓は、現代でも通用するものである。これは、人間の基本的な性質は、どの時代もほとんど変わらないということを示していると思う。

このように、わたしは物語の特徴を通して、この物語が語り継がれている理由について考えてきた。この物語には本来、前半に作者の伝記が含まれているようなので、ぜひそれも読んでみたいと思う。

(注) 寓話＝教訓や風刺(ふうし)を織りこんだ物語。

一 「高木さんがまとめたもの」で見られる工夫として当てはまるものを、次の1から4までのの中からすべて選びなさい。

1 自分の考えには文末に思うという表現を用い、調べた内容と区別している。

2 考えたことを簡条書きにしてまとめ、読みやすくしている。

3 順序を表す言葉を使って、内容が伝わりやすい書き方をしている。

4 一気に読み通せるように、段落を設けずに書いている。

1、3

二 次のA～Eは、高木さんが「高木さんがまとめたもの」を書く前に、構成を考えるために作ったものです。次の問いに答えなさい。

① 興味を持って調べたことは何かを書く。

② A、説明する。

③ B理由について、図書館で調べたことをまとめる。

④ 長い間イソップ物語が語り継がれてきた理由として、考えられる特徴を挙げる。

⑤ まとめ

(1) ②の A に当てはまる内容を、「高木さんがまとめたもの」を参考にし、疑問の形にして二十五字以内で書きなさい。(句読点も一字として含めます。)

例 「イソップ物語」とはどのような物語なのか

25

(2) ③の B に当てはまる内容を、「高木さんがまとめたもの」から八字で抜き出しなさい。

古文になっている

三 高木さんは、「長い間イソップ物語が語り継がれてきた理由となる物語の特徴」について、要約することにしました。次の条件1から条件3にしたがって要約しなさい。

条件1 「高木さんがまとめたもの」に書かれている、イソップ物語の

二つの特徴をまとめること。

条件2 八十字以上、百十字以内で書くこと。

条件3 原稿用紙の使い方に従って書くこと。

例

特徴の一つは、一つ一つの話が	短く、登場する生き物が少ない	え、たとえ話になっており、内容	が理解しやすいことである。もう	一つの特徴は、物語で示される教	訓が、現代でも十分に通用するこ	とである。
----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------

100